



## 体力開発センターが廃止へ

みなさんのご意見お寄せ下さい

9月10日から定例の議会がはじまります。3日に議会運営委員会が開かれました。そこで、驚いたことに当局の提出議案の中に和歌山県体力開発センターの廃止が盛り込まれています。担当課は教育委員会スポーツ課です。廃止の理由として、体力開発センターは耐震改修が必要と判断されている施設であり、秋葉山公園県民水泳場のオープンによるものということです。

### 廃止の要点は…

廃止の要点として、「施設のあり方について検討した結果、平成18年度に『県有施設の耐震診断の実施方針』等に基づき実施された耐震診断において、体力開発センターは耐震基準を満たしていないと判断されたこと、また、同等の機能を有する秋葉山県民水泳場が平成25年9月から供用開始となることから当該センターを廃止するものである。昭和49年に設置されて以来、多くの県民に利用されてきた施設であることから、半年間の周知・案内期間を設け、



9月1日、秋葉山県民水泳場のオープニングセレモニーで。右は日本共産党松坂英樹県議員

廃止する条例の施行日を平成26年4月1日とする」ということが資料に書かれています。

早速、県議団として両施設の視察を行い、どのような検討がされてきたのか今議会でも明らかにしたいと考えています。

ぜひ、みなさんからもご意見をいただきたいと思っております。よろしくお願い致します。(G.S.K)

100号記念「あつたか通信」へ  
「投稿募集中」  
国政、地方政治への「意見から  
写真、絵手紙、川柳などよろしく」

## 汚染水流出の非常事態と東京五輪招致

最近、「しんぶん赤旗」の福島第一原発の汚染水報道や空撮写真は圧巻です。石油コンビナートと勘違いするようなタンク群、2年半前と同じタービン建屋。そして欠陥タンク群から人間が4時間浴びれば死亡する高線量の放射能汚染水が流出、毎日1千トンの地下水や排水溝を通じ海に流れていると言つ非常事態です。千基もあるタンクを一人の作業員で監視する、小さな東電任せでは、海への流出を完全に止める見通しは立たずまさに八方塞です。

共産党など各党が国会閉会中の緊急審査を求めましたが、自民党は東京五輪開催地が決まる8日(日本時間)までは、悪い評価を与えると見たのか先送りしました。

安倍首相は「東京五輪招致でブエノスアイレスへ行く」とニコニコ顔ですが、海外メディアから「東京五輪招致に浮かれている場合では…」などの批判にあわてたのか、3日、470億の税金投入を決めるも、対策は破たんした東電の従来の延長線上で抜本策とは程遠く、五輪招致で汚染水がマイナス材料にならぬようゴマカシかも?果たして結末は…。綿密な調査と取材で報じる「赤旗」が光っています。周りの方々に「購読おすすり下さい。(編集室)



### のり子の週間日誌 (主なもの)

- 9月 6日 市駅前宣伝 県地評懇談
- 7日 医師協組員交流集会 医労連総会
- 8日 議会準備
- 9日 後期高齢者不服審査請求行動
- 10日 議会開会
- 11日 休会 質問準備
- 12日 休会 通告 無料生活相談日

### 河西地区の道標

河西地区の様々な歴史に興味をもち、時間があれば調査で出向くことがあります。

写真は「紀伊国」の道標で、江戸時代中期に建てられたものです。

河西地区には様々な峠があり、当時の「和泉国」との国境を示しています。西方から大川峠、猿坂峠、孝子峠、平井峠ですが、当時の文献によれば「関所」が設けられていたのは大川峠、孝子峠で、写真の「道

## 歴史遺産の風化が寂しい

標」は和歌山市大川、岬町小島間に建つ国境標記石柱です。

明治維新によって「廃藩置県」が施行されましたが、県境は当時の国境となっています。

孝子峠では私の記憶では1970年までは「茶屋」があり、側に「ここより紀州国」道標があったことを覚えています。が、「茶屋、道標」は道路拡張と同時になくなりました。猿坂、平井峠には今でも道標は残されています。

こうした歴史の遺産が放置され、風化していくことに危機感を感じています。



Relay talk

党市議会議員

渡辺 忠広

